

# 令和 2 年度 病院事業決算状況

都道府県名 静岡県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ	市町村・組合名	病院名	ページ
-	静岡がんセンター	2	御前崎市	市立御前崎総合病院	20
-	想定企業会計（静岡県立病院機構）	3	菊川市	菊川市立総合病院	21
静岡市	静岡市立静岡病院	4	森町	公立森町病院	22
静岡市	静岡市立清水病院	5	共立蒲原総合病院組合（事業会計分）	共立蒲原総合病院	23
浜松市	浜松医療センター	6	榛原総合病院組合（事業会計分）	榛原総合病院	24
浜松市	浜松市リハビリテーション病院	7	一部事務組合下田メディカルセンター（事業会計分）	下田メディカルセンター	25
浜松市	浜松市国民健康保険佐久間病院	8	掛川市・袋井市病院企業団	掛川市・袋井市病院企業団立 中東遠総合医療センター	26
沼津市	市立病院	9			
富士宮市	富士宮市立病院	10			
伊東市	伊東市民病院	11			
島田市	島田市民病院	12			
富士市	中央病院	13			
磐田市	磐田市立総合病院	14			
焼津市	焼津市立総合病院	15			
藤枝市	藤枝市立総合病院	16			
袋井市	袋井市民病院	17			
袋井市	聖隷袋井市民病院	18			
湖西市	市立湖西病院	19			

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名					
病院名 静岡がんセンター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,665 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	37	指定病院の状況	が	特	
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	615	81.6	89.9	88.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	615	81.6	89.9	88.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.3	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	3,633,202	
決算規模(千円)	1,273,763,654	
標準財政規模(千円)	714,964,090	
財政力指数	0.72648	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	248.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	38,877,287			
1 経常収益	38,485,862			
(1) 医業収益	30,648,637			
入院収益	13,656,987			
外来収益	16,202,706			
診療収入計	29,859,693			
その他医業収益	788,944			
(うち他会計負担金)	134,854			
(2) 医業外収益	7,837,225			
(うち国・都道府県補助金)	131,456			
(うち他会計補助・負担金)	6,536,867			
(うち長期前受金戻入)	210,618			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	391,425			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	39,511,591			
2 経常費用	38,994,994			
(1) 医業費用	35,148,440			
職員給与費	13,285,970	43.3	62.1	55.8
材料費	13,378,384	43.7	25.3	29.8
(うち薬品費)	10,921,740	35.6	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,456,644	8.0	11.4	13.0
減価償却費	2,307,970	7.5	9.5	8.7
経費	5,769,354	18.8	22.7	19.7
(うち委託料)	4,221,002	13.8	12.6	12.6
研究研修費	387,694			
資産減耗費	19,068			
(2) 医業外費用	3,846,554			
(うち支払利息)	535,216	1.7	1.3	1.2
(3) 特別損失	516,597			
損益				
経常損益	-509,132			
純損益	-634,304			
累積欠損金	4,136,147			
経常収支比率	98.7		101.9	102.5
医業収支比率	87.2		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	17.3		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	21.8		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	81.6		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	60,851,787
1 固定資産	47,214,688
(1) 有形固定資産	43,012,167
(2) 無形固定資産	137,511
(3) 投資その他の資産	4,065,010
2 流動資産	13,637,099
(1) 現金及び預金	7,402,874
(2) 未収金及び未収収益	5,607,664
(3) 貸倒引当金( )	93,349
(4) 貯蔵品	585,765
3 繰延資産	-
負債合計	53,163,013
1 固定負債	42,132,369
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	38,753,930
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,378,439
(7) リース債務	-
2 流動負債	9,065,711
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,328,614
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	833,176
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,714,282
(9) 前受金及び前受収益	49,488
3 繰延収益	1,964,933
(1) 長期前受金	5,914,040
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,949,107
資本合計	7,688,774
1 資本金	11,369,223
2 剰余金	-3,680,449
(1) 資本金剰余金	455,698
(2) 利益剰余金	-4,136,147
負債・資本合計	60,851,787
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.8
修正医業収益(千円)	30,513,783

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	6,665,272	6,671,721
資本勘定繰入	2,095,886	193,905
計	8,761,158	6,865,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名					
病院名 想定企業会計(静岡県立病院機構)					
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	3,633,202	
決算規模(千円)	1,273,763,654	
標準財政規模(千円)	714,964,090	
財政力指数	0.72648	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.5
	将来負担比率(%)	248.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	161,014			
1 経常収益	161,014			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	161,014			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	161,014			
2 経常費用	161,014			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	161,014			
(うち支払利息)	161,014	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	100.0		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	13.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名		静岡市			
病院名		静岡市立静岡病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分		特殊診療機能			
病院区分		不採算地区病院			
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	-	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置			
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	693,389	
決算規模(千円)	401,389,969	
標準財政規模(千円)	190,502,477	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	48.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収	全国平均	類似平均
総収益	60,000			
1 経常収益	60,000			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	60,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	60,000			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	60,000			
2 経常費用	60,000			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	-	-	9.5	8.7
経費	-	-	22.7	19.7
(うち委託料)	-	-	12.6	12.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	60,000			
(うち支払利息)	60,000	-	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		101.9	102.5
医業収支比率	-		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	60,000	60,000
資本勘定繰入	303,000	303,000
計	363,000	363,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	静岡市				
病院名	静岡市立清水病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	35,997 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	463	61.4	76.5	77.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	463	61.4	76.5	77.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	13.3	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	693,389	
決算規模(千円)	401,389,969	
標準財政規模(千円)	190,502,477	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	94.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	48.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.3
修正医業収益(千円)	7,920,215

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,114,088			
1 経常収益	12,003,238			
(1) 医業収益	8,582,767			
入院収益	5,505,563			
外来収益	2,153,991			
診療収入計	7,659,554			
その他医業収益	923,213			
(うち他会計負担金)	662,552			
(2) 医業外収益	3,420,471			
(うち国・都道府県補助金)	111,421			
(うち他会計補助・負担金)	3,210,388			
(うち長期前受金戻入)	13,110			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	110,850			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,166,759			
2 経常費用	12,027,224			
(1) 医業費用	11,427,430			
職員給与費	6,372,747	74.3	62.1	59.8
材料費	1,892,835	22.1	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,146,320	13.4	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	746,515	8.7	11.4	12.4
減価償却費	703,291	8.2	9.5	8.2
経費	2,402,701	28.0	22.7	19.2
(うち委託料)	1,224,942	14.3	12.6	10.2
研究研修費	36,925			
資産減耗費	18,931			
(2) 医業外費用	599,794			
(うち支払利息)	36,653	0.4	1.3	1.2
(3) 特別損失	139,535			
損益				
経常損益	-23,986			
純損益	-52,671			
累積欠損金	1,361,828			
経常収支比率	99.8		101.9	103.7
医業収支比率	75.1		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	32.3		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	45.1		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	32.0		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	67.6		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,612,425
1 固定資産	8,427,440
(1) 有形固定資産	7,868,748
(2) 無形固定資産	483
(3) 投資その他の資産	558,209
2 流動資産	3,184,985
(1) 現金及び預金	562,997
(2) 未収金及び未収収益	2,673,604
(3) 貸倒引当金( )	107,044
(4) 貯蔵品	48,460
3 繰延資産	-
負債合計	6,605,822
1 固定負債	4,386,975
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,878,738
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,492,724
(7) リース債務	15,513
2 流動負債	1,942,513
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	573,850
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	452,490
(6) リース債務	47,025
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	814,740
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	276,334
(1) 長期前受金	747,154
(2) 長期前受金収益化累計額( )	470,820
資本合計	5,006,603
1 資本金	6,191,299
2 剰余金	-1,184,696
(1) 資本金剰余金	177,132
(2) 利益剰余金	-1,361,828
負債・資本合計	11,612,425
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,667,000	3,872,940
資本勘定繰入	-	53,625
計	1,667,000	3,926,565

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	15.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	浜松市		
病院名	浜松医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	47,999 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感災地輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	600	77.4	84.4	86.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	9.3	3.1	-
計	606	76.8	83.6	85.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	12.7	13.4

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	440,426,166	
標準財政規模(千円)	216,033,868	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,970,533			
1 経常収益	3,968,675			
(1) 医業収益	275,735			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	275,735			
(うち他会計負担金)	275,735			
(2) 医業外収益	3,692,940			
(うち国・都道府県補助金)	1,338,144			
(うち他会計補助・負担金)	712,924			
(うち長期前受金戻入)	50,926			
(うち資本費繰入収益)	665,284			
(3) 特別利益	1,858			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,766,718			
2 経常費用	3,400,216			
(1) 医業費用	3,108,424			
職員給与費	10,820	3.9	62.1	55.8
材料費	-	-	25.3	29.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	13.0
減価償却費	1,042,611	378.1	9.5	8.7
経費	2,045,326	741.8	22.7	19.7
(うち委託料)	2,039,801	739.8	12.6	12.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	9,667	-	-	-
(2) 医業外費用	291,792			
(うち支払利息)	246,027	89.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	366,502			
損益				
経常損益	568,459			
純損益	203,815			
累積欠損金	-			
経常収支比率	116.7		101.9	102.5
医業収支比率	8.9		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	24.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	358.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	24.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	87.6		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,458,579
1 固定資産	26,148,830
(1) 有形固定資産	25,548,854
(2) 無形固定資産	8,230
(3) 投資その他の資産	591,746
2 流動資産	4,309,749
(1) 現金及び預金	2,859,550
(2) 未収金及び未収収益	1,441,908
(3) 貸倒引当金( )	1,890
(4) 貯蔵品	10,181
3 繰延資産	-
負債合計	17,789,974
1 固定負債	13,565,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,265,139
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	229,929
(7) リース債務	70,599
2 流動負債	2,862,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,436,894
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,938
(6) リース債務	18,827
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,359,175
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,361,448
(1) 長期前受金	3,040,848
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,679,400
資本合計	12,668,605
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	9,028,612
(1) 資本金剰余金	4,121,256
(2) 利益剰余金	4,907,356
負債・資本合計	30,458,579
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	541,659	988,659
資本勘定繰入	670,863	690,715
計	1,212,522	1,679,374

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			静岡県
市町村・組合名	浜松市		
病院名	浜松市リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,424 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	4	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	180	94.3	94.4	94.5
療養	45	96.3	95.6	96.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	225	94.7	94.7	94.9
平均在院日数(一般病床のみ)		45.0	47.4	46.1

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	440,426,166	
標準財政規模(千円)	216,033,868	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.2
修正医業収益(千円)	3,503,815

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,931,923			
1 経常収益	3,931,471			
(1) 医業収益	3,503,815			
入院収益	3,033,808			
外来収益	318,900			
診療収入計	3,352,708			
その他医業収益	151,107			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	427,656			
(うち国・都道府県補助金)	15,704			
(うち他会計補助・負担金)	276,124			
(うち長期前受金戻入)	94,377			
(うち資本費繰入収益)	40,549			
(3) 特別利益	452			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,908,715			
2 経常費用	3,892,089			
(1) 医業費用	3,800,776			
職員給与費	7,233	0.2	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	239,359	6.8	9.5	10.2
経費	3,553,476	101.4	22.7	28.2
(うち委託料)	3,550,461	101.3	12.6	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	708			
(2) 医業外費用	91,313			
(うち支払利息)	73,325	2.1	1.3	1.6
(3) 特別損失	16,626			
損益				
経常損益	39,382			
純損益	23,208			
累積欠損金	251,167			
経常収支比率	101.0		101.9	99.9
医業収支比率	92.2		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.0		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	7.0		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	93.9		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,458,579
1 固定資産	26,148,830
(1) 有形固定資産	25,548,854
(2) 無形固定資産	8,230
(3) 投資その他の資産	591,746
2 流動資産	4,309,749
(1) 現金及び預金	2,859,550
(2) 未収金及び未収収益	1,441,908
(3) 貸倒引当金( )	1,890
(4) 貯蔵品	10,181
3 繰延資産	-
負債合計	17,789,974
1 固定負債	13,565,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,265,139
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	229,929
(7) リース債務	70,599
2 流動負債	2,862,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,436,894
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,938
(6) リース債務	18,827
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,359,175
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,361,448
(1) 長期前受金	3,040,848
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,679,400
資本合計	12,668,605
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	9,028,612
(1) 資本剰余金	4,121,256
(2) 利益剰余金	4,907,356
負債・資本合計	30,458,579
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	276,124	276,124
資本勘定繰入	127,762	129,368
計	403,886	405,492

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	浜松市				
病院名	浜松市国民健康保険佐久間病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,517 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救 感 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	36	60.8	85.1	75.6
療養	20	47.0	74.9	69.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	60	52.2	76.0	68.5
平均在院日数(一般病床のみ)		21.4	22.6	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	790,718	
決算規模(千円)	440,426,166	
標準財政規模(千円)	216,033,868	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.1
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	41.2
修正医業収益(千円)	460,864

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,211,423			
1 経常収益	1,182,417			
(1) 医業収益	498,855			
入院収益	245,974			
外来収益	183,993			
診療収入計	429,967			
その他医業収益	68,888			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	683,562			
(うち国・都道府県補助金)	117,151			
(うち他会計補助・負担金)	497,215			
(うち長期前受金戻入)	46,983			
(うち資本費繰入収益)	19,642			
(3) 特別利益	29,006			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,201,833			
2 経常費用	1,177,145			
(1) 医業費用	1,118,367			
職員給与費	584,921	117.3	62.1	78.9
材料費	106,577	21.4	25.3	15.6
(うち薬品費)	71,114	14.3	13.5	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,552	5.3	11.4	6.0
減価償却費	89,295	17.9	9.5	11.7
経費	332,376	66.6	22.7	31.2
(うち委託料)	176,620	35.4	12.6	14.3
研究研修費	611			
資産減耗費	4,587			
(2) 医業外費用	58,778			
(うち支払利息)	6,362	1.3	1.3	1.7
(3) 特別損失	24,688			
損益				
経常損益	5,272			
純損益	9,590			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		101.9	100.3
医業収支比率	44.6		83.2	72.4
他会計繰入金対経常収益比率	45.3		12.3	23.6
他会計繰入金対医業収益比率	107.3		16.0	35.0
他会計繰入金対総収益比率	44.2		12.2	23.4
実質収益対経常費用比率	55.0		89.3	76.7

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	30,458,579
1 固定資産	26,148,830
(1) 有形固定資産	25,548,854
(2) 無形固定資産	8,230
(3) 投資その他の資産	591,746
2 流動資産	4,309,749
(1) 現金及び預金	2,859,550
(2) 未収金及び未収収益	1,441,908
(3) 貸倒引当金( )	1,890
(4) 貯蔵品	10,181
3 繰延資産	-
負債合計	17,789,974
1 固定負債	13,565,667
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,265,139
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	229,929
(7) リース債務	70,599
2 流動負債	2,862,859
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,436,894
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,938
(6) リース債務	18,827
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,359,175
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,361,448
(1) 長期前受金	3,040,848
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,679,400
資本合計	12,668,605
1 資本金	3,639,993
2 剰余金	9,028,612
(1) 資本金剰余金	4,121,256
(2) 利益剰余金	4,907,356
負債・資本合計	30,458,579
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	463,114	535,206
資本勘定繰入	60,080	68,831
計	523,194	604,037

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	沼津市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透   未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	45,309 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	387	64.1	73.6	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	387	64.1	73.6	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.1	12.0	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	189,386	
決算規模(千円)	95,249,477	
標準財政規模(千円)	40,816,865	
財政力指数	0.96	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	30.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,679,809			
1 経常収益	10,508,009			
(1) 医業収益	9,194,772			
入院収益	6,032,863			
外来収益	2,452,289			
診療収入計	8,485,152			
その他医業収益	709,620			
(うち他会計負担金)	588,000			
(2) 医業外収益	1,313,237			
(うち国・都道府県補助金)	231,717			
(うち他会計補助・負担金)	820,329			
(うち長期前受金戻入)	39,203			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	171,800			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,349,034			
2 経常費用	11,172,367			
(1) 医業費用	10,577,687			
職員給与費	5,505,154	59.9	62.1	63.5
材料費	2,393,005	26.0	25.3	24.9
(うち薬品費)	968,855	10.5	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,421,165	15.5	11.4	11.8
減価償却費	618,710	6.7	9.5	10.0
経費	2,034,552	22.1	22.7	21.7
(うち委託料)	1,010,025	11.0	12.6	12.2
研究研修費	12,951			
資産減耗費	13,315			
(2) 医業外費用	594,680			
(うち支払利息)	24,209	0.3	1.3	1.4
(3) 特別損失	176,667			
損益				
経常損益	-664,358			
純損益	-669,225			
累積欠損金	6,435,860			
経常収支比率	94.1		101.9	101.7
医業収支比率	86.9		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	13.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.3		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	81.4		89.3	90.0

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,477,380
1 固定資産	8,673,143
(1) 有形固定資産	8,548,102
(2) 無形固定資産	64,981
(3) 投資その他の資産	60,060
2 流動資産	1,804,237
(1) 現金及び預金	82,780
(2) 未収金及び未収収益	1,690,850
(3) 貸倒引当金( )	28,107
(4) 貯蔵品	36,878
3 繰延資産	-
負債合計	6,874,348
1 固定負債	4,444,307
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,985,585
(2) その他の企業債	324,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,134,722
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,149,377
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	600,653
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	302,150
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	132,000
(8) 未払金及び未払費用	1,063,708
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	280,664
(1) 長期前受金	1,110,269
(2) 長期前受金収益化累計額( )	829,605
資本合計	3,603,032
1 資本金	10,038,892
2 剰余金	-6,435,860
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-6,435,860
負債・資本合計	10,477,380
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.4
修正医業収益(千円)	8,606,772

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,300,000	1,408,329
資本勘定繰入	200,000	210,057
計	1,500,000	1,618,386

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	60,049	0.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	70.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士宮市				
病院名	富士宮市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	23,298 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	14	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	380	63.6	68.4	71.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	63.6	68.4	71.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	10.4	11.6

設立団体の状況		
人口(人)	128,105	
決算規模(千円)	61,493,585	
標準財政規模(千円)	26,925,304	
財政力指数	0.92	
経常収支比率(%)	90.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.2
	将来負担比率(%)	7.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,113,903			
1 経常収益	9,958,703			
(1) 医業収益	8,593,864			
入院収益	4,980,124			
外来収益	3,126,294			
診療収入計	8,106,418			
その他医業収益	487,446			
(うち他会計負担金)	361,031			
(2) 医業外収益	1,364,839			
(うち国・都道府県補助金)	540,150			
(うち他会計補助・負担金)	771,384			
(うち長期前受金戻入)	6,333			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	155,200			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,328,983			
2 経常費用	10,161,843			
(1) 医業費用	9,721,150			
職員給与費	4,989,817	58.1	62.1	63.5
材料費	2,533,819	29.5	25.3	24.9
(うち薬品費)	1,703,013	19.8	13.5	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	830,282	9.7	11.4	11.8
減価償却費	639,165	7.4	9.5	10.0
経費	1,527,914	17.8	22.7	21.7
(うち委託料)	766,398	8.9	12.6	12.2
研究研修費	13,598			
資産減耗費	16,837			
(2) 医業外費用	440,693			
(うち支払利息)	3,635	-	1.3	1.4
(3) 特別損失	167,140			
経常損益	-203,140			
純損益	-215,080			
累積欠損金	4,693,167			
経常収支比率	98.0		101.9	101.7
医業収支比率	88.4		83.2	82.8
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.2		16.0	15.0
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.2	11.3
実質収益対経常費用比率	86.9		89.3	90.0

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,833,372
1 固定資産	7,777,437
(1) 有形固定資産	7,627,185
(2) 無形固定資産	2,652
(3) 投資その他の資産	147,600
2 流動資産	2,055,935
(1) 現金及び預金	482,510
(2) 未収金及び未収収益	1,532,167
(3) 貸倒引当金( )	8,611
(4) 貯蔵品	42,715
3 繰延資産	-
負債合計	3,018,100
1 固定負債	1,470,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,449,661
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	21,283
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,385,258
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	240,066
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	305,653
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	789,507
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	161,898
(1) 長期前受金	331,015
(2) 長期前受金収益化累計額( )	169,117
資本合計	6,815,272
1 資本金	11,194,727
2 剰余金	-4,379,455
(1) 資本金剰余金	313,712
(2) 利益剰余金	-4,693,167
負債・資本合計	9,833,372
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	8,232,833

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,132,415	1,132,415
資本勘定繰入	267,585	267,585
計	1,400,000	1,400,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	54.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	伊東市				
病院名	伊東市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	18,628 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	20	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	250	68.3	78.2	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	250	68.3	78.2	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	16.7	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	65,491	
決算規模(千円)	35,128,618	
標準財政規模(千円)	15,806,803	
財政力指数	0.73	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.9
	将来負担比率(%)	16.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	411,119			
1 経常収益	411,119			
(1) 医業収益	55,000			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	55,000			
(うち他会計負担金)	55,000			
(2) 医業外収益	356,119			
(うち国・都道府県補助金)	11,291			
(うち他会計補助・負担金)	222,557			
(うち長期前受金戻入)	16,183			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	590,221			
2 経常費用	590,221			
(1) 医業費用	538,279			
職員給与費	15,093	27.4	62.1	66.1
材料費	-	-	25.3	19.8
(うち薬品費)	-	-	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	9.3
減価償却費	180,336	327.9	9.5	10.2
経費	237,149	431.2	22.7	28.2
(うち委託料)	95,291	173.3	12.6	13.6
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	105,701	-	-	-
(2) 医業外費用	51,942	-	-	-
(うち支払利息)	51,942	94.4	1.3	1.6
(3) 特別損失	-	-	-	-
損益				
経常損益	-179,102			
純損益	-179,102			
累積欠損金	1,111,594			
経常収支比率	69.7		101.9	99.9
医業収支比率	10.2		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	67.5		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	504.6		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	67.5		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	22.6		89.3	86.6

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,295,803
1 固定資産	4,892,619
(1) 有形固定資産	4,691,123
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	201,496
2 流動資産	1,403,184
(1) 現金及び預金	1,381,927
(2) 未収金及び未収収益	1,369
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,912,316
1 固定負債	3,213,617
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,213,617
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	174,852
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	162,050
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,390
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	11,412
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	523,847
(1) 長期前受金	644,155
(2) 長期前受金収益化累計額( )	120,308
資本合計	2,383,487
1 資本金	3,234,521
2 剰余金	-851,034
(1) 資本金剰余金	260,560
(2) 利益剰余金	-1,111,594
負債・資本合計	6,295,803
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	81,236	277,557
資本勘定繰入	81,443	81,443
計	162,679	359,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2021.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債  
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	島田市				
病院名	島田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透   訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,894 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	31	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7 : 1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	467	77.1	76.0	78.5
療養	35	-	40.9	63.1
結核	8	-	0.1	2.1
精神	20	-	-	-
感染症	6	34.7	1.7	-
計	536	67.6	68.9	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	16.2	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	95,719	
決算規模(千円)	57,288,322	
標準財政規模(千円)	22,359,980	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.3
修正医業収益(千円)	11,207,056

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,209,276			
1 経常収益	12,661,537			
(1) 医業収益	11,336,662			
入院収益	7,028,647			
外来収益	3,892,847			
診療収入計	10,921,494			
その他医業収益	415,168			
(うち他会計負担金)	129,606			
(2) 医業外収益	1,324,875			
(うち国・都道府県補助金)	528,605			
(うち他会計補助・負担金)	622,801			
(うち長期前受金戻入)	8,441			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	547,739			
(うち他会計繰入金)	8,552			
総費用	13,679,354			
2 経常費用	13,040,643			
(1) 医業費用	12,275,425			
職員給与費	6,754,392	59.6	62.1	55.8
材料費	3,153,330	27.8	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,760,107	15.5	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,389,509	12.3	11.4	13.0
減価償却費	733,565	6.5	9.5	8.7
経費	1,596,568	14.1	22.7	19.7
(うち委託料)	879,402	7.8	12.6	12.6
研究研修費	28,231			
資産減耗費	9,339			
(2) 医業外費用	765,218			
(うち支払利息)	23,757	0.2	1.3	1.2
(3) 特別損失	638,711			
損益				
経常損益	-379,106			
純損益	-470,078			
累積欠損金	10,004,321			
経常収支比率	97.1		101.9	102.5
医業収支比率	92.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	5.8		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	91.3		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	41,722,260
1 固定資産	25,239,507
(1) 有形固定資産	23,817,627
(2) 無形固定資産	4,436
(3) 投資その他の資産	1,417,444
2 流動資産	16,482,753
(1) 現金及び預金	11,255,457
(2) 未収金及び未収収益	5,128,289
(3) 貸倒引当金( )	16,719
(4) 貯蔵品	112,593
3 繰延資産	-
負債合計	29,978,790
1 固定負債	15,501,827
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,110,859
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,385,975
(7) リース債務	4,993
2 流動負債	14,267,221
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	408,745
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	478,570
(6) リース債務	2,005
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	13,373,285
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	209,742
(1) 長期前受金	735,583
(2) 長期前受金収益化累計額( )	525,841
資本合計	11,743,470
1 資本金	21,709,407
2 剰余金	-9,965,937
(1) 資本金剰余金	37,614
(2) 利益剰余金	-10,003,551
負債・資本合計	41,722,260
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	750,903	760,959
資本勘定繰入	3,618,979	3,618,979
計	4,369,882	4,379,938

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	88.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	富士市				
病院名	中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,989 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	504	69.0	83.4	86.7
療養	-	-	-	-
結核	10	0.2	16.1	6.5
精神	-	-	-	-
感染症	6	14.3	2.3	-
計	520	67.1	81.2	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.2	12.0	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	245,392	
決算規模(千円)	121,978,671	
標準財政規模(千円)	51,318,887	
財政力指数	1.01	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	63.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,693,469			
1 経常収益	15,458,211			
(1) 医業収益	12,033,342			
入院収益	7,867,274			
外来収益	3,493,359			
診療収入計	11,360,633			
その他医業収益	672,709			
(うち他会計負担金)	504,658			
(2) 医業外収益	3,424,869			
(うち国・都道府県補助金)	2,048,710			
(うち他会計補助・負担金)	1,210,817			
(うち長期前受金戻入)	17,083			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	235,258			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,963,201			
2 経常費用	14,727,943			
(1) 医業費用	14,136,697			
職員給与費	8,122,164	67.5	62.1	55.8
材料費	3,297,378	27.4	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,938,573	16.1	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,358,805	11.3	11.4	13.0
減価償却費	661,905	5.5	9.5	8.7
経費	2,013,692	16.7	22.7	19.7
(うち委託料)	1,157,970	9.6	12.6	12.6
研究研修費	33,130			
資産減耗費	8,428			
(2) 医業外費用	591,246			
(うち支払利息)	9,079	0.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	235,258			
損益				
経常損益	730,268			
純損益	730,268			
累積欠損金	4,005,921			
経常収支比率	105.0		101.9	102.5
医業収支比率	85.1		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.3		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	93.3		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,263,983
1 固定資産	6,693,742
(1) 有形固定資産	6,686,251
(2) 無形固定資産	7,471
(3) 投資その他の資産	20
2 流動資産	4,570,241
(1) 現金及び預金	1,778,707
(2) 未収金及び未収収益	2,749,258
(3) 貸倒引当金( )	22,853
(4) 貯蔵品	46,470
3 繰延資産	-
負債合計	7,261,325
1 固定負債	4,198,913
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,275,365
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,923,548
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,750,733
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	532,852
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	420,951
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,609,769
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	311,679
(1) 長期前受金	1,104,731
(2) 長期前受金収益化累計額( )	793,052
資本合計	4,002,658
1 資本金	7,395,889
2 剰余金	-3,393,231
(1) 資本金剰余金	329,090
(2) 利益剰余金	-3,722,321
負債・資本合計	11,263,983
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.6
修正医業収益(千円)	11,528,684

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,342,475	1,715,475
資本勘定繰入	219,723	-
計	1,562,198	1,715,475

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	33.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	磐田市				
病院名	磐田市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,474 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	498	78.7	88.4	88.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	17.5	-	-
計	500	78.5	88.1	87.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	12.2	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	166,672	
決算規模(千円)	89,894,025	
標準財政規模(千円)	39,167,553	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.3
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.7
修正医業収益(千円)	15,337,076

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	17,808,997			
1 経常収益	17,521,486			
(1) 医業収益	15,594,008			
入院収益	9,849,367			
外来収益	4,930,640			
診療収入計	14,780,007			
その他医業収益	814,001			
(うち他会計負担金)	256,932			
(2) 医業外収益	1,927,478			
(うち国・都道府県補助金)	1,425,031			
(うち他会計補助・負担金)	355,534			
(うち長期前受金戻入)	45,726			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	287,511			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,995,961			
2 経常費用	17,625,647			
(1) 医業費用	16,725,109			
職員給与費	8,999,309	57.7	62.1	55.8
材料費	3,853,467	24.7	25.3	29.8
(うち薬品費)	2,235,953	14.3	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,615,992	10.4	11.4	13.0
減価償却費	882,475	5.7	9.5	8.7
経費	2,917,303	18.7	22.7	19.7
(うち委託料)	1,713,947	11.0	12.6	12.6
研究研修費	34,430			
資産減耗費	38,125			
(2) 医業外費用	900,538			
(うち支払利息)	205,561	1.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	370,314			
損益				
経常損益	-104,161			
純損益	-186,964			
累積欠損金	15,721,430			
経常収支比率	99.4		101.9	102.5
医業収支比率	93.2		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	3.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	3.4		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	95.9		89.3	93.2

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,194,369
1 固定資産	14,153,580
(1) 有形固定資産	13,810,059
(2) 無形固定資産	4,647
(3) 投資その他の資産	338,874
2 流動資産	4,040,789
(1) 現金及び預金	839,717
(2) 未収金及び未収収益	3,134,479
(3) 貸倒引当金( )	15,781
(4) 貯蔵品	82,373
3 繰延資産	-
負債合計	14,724,153
1 固定負債	10,411,206
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,726,206
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,585,000
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,481,969
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,618,629
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	527,611
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,335,729
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	830,978
(1) 長期前受金	1,813,834
(2) 長期前受金収益化累計額( )	982,856
資本合計	3,470,216
1 資本金	19,191,646
2 剰余金	-15,721,430
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-15,721,430
負債・資本合計	18,194,369
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,119,304	612,466
資本勘定繰入	1,269,021	1,083,634
計	2,388,325	1,696,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	100.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	焼津市				
病院名	焼津市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,220 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	29	指定病院の状況	救臨 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	471	71.1	81.2	83.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	471	71.1	81.2	83.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	12.3	12.1

設立団体の状況		
人口(人)	136,845	
決算規模(千円)	72,738,026	
標準財政規模(千円)	27,758,936	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	92.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	13.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.1
修正医業収益(千円)	10,747,327

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,245,770			
1 経常収益	12,921,711			
(1) 医業収益	11,107,061			
入院収益	7,333,942			
外来収益	3,174,827			
診療収入計	10,508,769			
その他医業収益	598,292			
(うち他会計負担金)	359,734			
(2) 医業外収益	1,814,650			
(うち国・都道府県補助金)	655,071			
(うち他会計補助・負担金)	671,192			
(うち長期前受金戻入)	42,591			
(うち資本費繰入収益)	347,596			
(3) 特別利益	324,059			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,466,785			
2 経常費用	13,224,217			
(1) 医業費用	12,636,238			
職員給与費	7,339,337	66.1	62.1	59.8
材料費	2,525,602	22.7	25.3	27.7
(うち薬品費)	1,376,040	12.4	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,085,523	9.8	11.4	12.4
減価償却費	699,626	6.3	9.5	8.2
経費	2,034,084	18.3	22.7	19.2
(うち委託料)	1,045,618	9.4	12.6	10.2
研究研修費	28,855			
資産減耗費	8,734			
(2) 医業外費用	587,979			
(うち支払利息)	9,505	0.1	1.3	1.2
(3) 特別損失	1,242,568			
損益				
経常損益	-302,506			
純損益	-1,221,015			
累積欠損金	10,104,923			
経常収支比率	97.7		101.9	103.7
医業収支比率	87.9		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.0		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	9.3		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	7.8		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	89.9		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,539,988
1 固定資産	6,242,917
(1) 有形固定資産	5,667,321
(2) 無形固定資産	9,691
(3) 投資その他の資産	565,905
2 流動資産	4,297,071
(1) 現金及び預金	1,973,317
(2) 未収金及び未収収益	2,274,326
(3) 貸倒引当金( )	5,087
(4) 貯蔵品	54,515
3 繰延資産	-
負債合計	7,920,155
1 固定負債	4,888,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,622,931
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,266,013
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,678,437
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	738,805
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	457,127
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,421,110
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	352,774
(1) 長期前受金	1,165,289
(2) 長期前受金収益化累計額( )	812,515
資本合計	2,619,833
1 資本金	12,688,777
2 剰余金	-10,068,944
(1) 資本金剰余金	35,979
(2) 利益剰余金	-10,104,923
負債・資本合計	10,539,988
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	914,473	1,030,926
資本勘定繰入	418,437	418,437
計	1,332,910	1,449,363

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	藤枝市				
病院名	藤枝市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	57,940 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	35	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	564	72.5	78.9	84.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	564	72.5	78.9	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.7	13.3

設立団体の状況		
人口(人)	141,342	
決算規模(千円)	67,852,096	
標準財政規模(千円)	28,461,312	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	88.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.7
	将来負担比率(%)	5.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.4
修正医業収益(千円)	16,495,715

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,468,934			
1 経常収益	19,184,592			
(1) 医業収益	17,144,615			
入院収益	9,675,539			
外来収益	6,469,135			
診療収入計	16,144,674			
その他医業収益	999,941			
(うち他会計負担金)	648,900			
(2) 医業外収益	2,039,977			
(うち国・都道府県補助金)	1,244,392			
(うち他会計補助・負担金)	667,100			
(うち長期前受金戻入)	48,125			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	284,342			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,280,223			
2 経常費用	18,995,881			
(1) 医業費用	17,849,148			
職員給与費	9,536,488	55.6	62.1	55.8
材料費	4,938,374	28.8	25.3	29.8
(うち薬品費)	3,483,091	20.3	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,367,205	8.0	11.4	13.0
減価償却費	858,569	5.0	9.5	8.7
経費	2,466,469	14.4	22.7	19.7
(うち委託料)	1,410,966	8.2	12.6	12.6
研究研修費	36,025			
資産減耗費	13,223			
(2) 医業外費用	1,146,733			
(うち支払利息)	227,197	1.3	1.3	1.2
(3) 特別損失	284,342			
損益				
経常損益	188,711			
純損益	188,711			
累積欠損金	15,447,737			
経常収支比率	101.0		101.9	102.5
医業収支比率	96.1		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	6.9		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.7		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	6.8		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	94.1		89.3	93.2

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,272,378
1 固定資産	14,504,887
(1) 有形固定資産	13,981,138
(2) 無形固定資産	8,246
(3) 投資その他の資産	515,503
2 流動資産	3,767,491
(1) 現金及び預金	665,637
(2) 未収金及び未収収益	3,040,257
(3) 貸倒引当金( )	3,493
(4) 貯蔵品	63,284
3 繰延資産	-
負債合計	14,667,456
1 固定負債	9,797,648
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,405,982
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,780,000
(6) 引当金	2,600,771
(7) リース債務	10,895
2 流動負債	3,831,927
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,323,926
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	40,000
(5) 引当金	656,274
(6) リース債務	5,453
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,723,399
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,037,881
(1) 長期前受金	2,739,390
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,701,509
資本合計	3,604,922
1 資本金	19,044,263
2 剰余金	-15,439,341
(1) 資本金剰余金	8,396
(2) 利益剰余金	-15,447,737
負債・資本合計	18,272,378
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,479,438	1,316,000
資本勘定繰入	860,100	624,000
計	2,339,538	1,940,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	90.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	袋井市		
病院名	袋井市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	87,864	
決算規模(千円)	45,565,867	
標準財政規模(千円)	20,269,913	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	49.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	62.1	89.0
材料費	-	-	25.3	14.0
(うち薬品費)	-	-	13.5	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	5.4
減価償却費	-	-	9.5	13.0
経費	-	-	22.7	47.1
(うち委託料)	-	-	12.6	22.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.3	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		101.9	98.5
医業収支比率	-		83.2	61.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.3	34.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		16.0	60.0
他会計繰入金対総収益比率	-		12.2	34.9
実質収益対経常費用比率	-		89.3	64.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-

備考：  
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	袋井市				
病院名	聖隷袋井市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,399 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	4	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	100	81.3	82.5	78.2
療養	50	89.3	84.4	86.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	84.0	83.1	81.1
平均在院日数(一般病床のみ)		47.7	48.1	45.9

設立団体の状況		
人口(人)	87,864	
決算規模(千円)	45,565,867	
標準財政規模(千円)	20,269,913	
財政力指数	0.89	
経常収支比率(%)	91.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	49.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.9
修正医業収益(千円)	1,413,471

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,731,738			
1 経常収益	1,731,738			
(1) 医業収益	1,413,471			
入院収益	1,259,098			
外来収益	88,747			
診療収入計	1,347,845			
その他医業収益	65,626			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	318,267			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	273,662			
(うち長期前受金戻入)	9,497			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,713,881			
2 経常費用	1,713,502			
(1) 医業費用	1,704,838			
職員給与費	6,893	0.5	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	95,502	6.8	9.5	10.7
経費	1,601,979	113.3	22.7	29.2
(うち委託料)	16,940	1.2	12.6	13.9
研究研修費	-	-	-	-
資産減耗費	464	-	-	-
(2) 医業外費用	8,664	-	-	-
(うち支払利息)	1,610	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	379	-	-	-
損益				
経常損益	18,236			
純損益	17,857			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		101.9	100.3
医業収支比率	82.9		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	15.8		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	19.4		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.8		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	85.1		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,524,552
1 固定資産	1,186,827
(1) 有形固定資産	1,120,139
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,688
2 流動資産	337,725
(1) 現金及び預金	109,212
(2) 未収金及び未収収益	233,013
(3) 貸倒引当金( )	4,500
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,035,073
1 固定負債	507,437
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	504,911
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,526
(7) リース債務	-
2 流動負債	307,889
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,289
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	596
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	144,004
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	219,747
(1) 長期前受金	296,087
(2) 長期前受金収益化累計額( )	76,340
資本合計	489,479
1 資本金	335,000
2 剰余金	154,479
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	154,479
負債・資本合計	1,524,552
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	805	273,662
資本勘定繰入	84,725	70,000
計	85,530	343,662

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)			都道府県名
			静岡県
市町村・組合名	湖西市		
病院名	市立湖西病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,962 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	20	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	196	31.6	34.8	36.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	196	31.6	34.8	36.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	14.3	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	57,885	
決算規模(千円)	27,702,074	
標準財政規模(千円)	13,927,185	
財政力指数	1.05	
経常収支比率(%)	85.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.0
	将来負担比率(%)	13.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	71.2
修正医業収益(千円)	2,153,772

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,204,288			
1 経常収益	3,140,222			
(1) 医業収益	2,324,374			
入院収益	919,287			
外来収益	949,433			
診療収入計	1,868,720			
その他医業収益	455,654			
(うち他会計負担金)	170,602			
(2) 医業外収益	815,848			
(うち国・都道府県補助金)	49,629			
(うち他会計補助・負担金)	669,014			
(うち長期前受金戻入)	89,872			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	64,066			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,202,885			
2 経常費用	3,145,304			
(1) 医業費用	3,025,855			
職員給与費	1,682,076	72.4	62.1	67.4
材料費	387,890	16.7	25.3	17.7
(うち薬品費)	194,518	8.4	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	192,994	8.3	11.4	8.8
減価償却費	189,672	8.2	9.5	10.7
経費	754,012	32.4	22.7	29.2
(うち委託料)	420,235	18.1	12.6	13.9
研究研修費	3,661			
資産減耗費	8,544			
(2) 医業外費用	119,449			
(うち支払利息)	3,908	0.2	1.3	1.5
(3) 特別損失	57,581			
損益				
経常損益	-5,082			
純損益	1,403			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.8		101.9	100.3
医業収支比率	76.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	26.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	36.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	26.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	73.1		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,108,343
1 固定資産	3,327,094
(1) 有形固定資産	3,281,119
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	45,975
2 流動資産	781,249
(1) 現金及び預金	332,608
(2) 未収金及び未収収益	422,981
(3) 貸倒引当金( )	1,333
(4) 貯蔵品	23,462
3 繰延資産	-
負債合計	1,970,345
1 固定負債	566,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	507,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	49,437
(7) リース債務	9,081
2 流動負債	405,380
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	110,972
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	109,597
(6) リース債務	6,906
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	174,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	998,791
(1) 長期前受金	3,135,741
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,136,950
資本合計	2,137,998
1 資本金	1,622,323
2 剰余金	515,675
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	515,675
負債・資本合計	4,108,343
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	346,516	839,616
資本勘定繰入	58,860	58,860
計	405,376	898,476

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	御前崎市				
病院名	市立御前崎総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,523 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	145	78.8	77.7	75.4
療養	54	87.1	87.9	87.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	81.1	80.5	78.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	19.8	33.5

設立団体の状況		
人口(人)	31,103	
決算規模(千円)	21,661,523	
標準財政規模(千円)	8,903,593	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	85.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.1
修正医業収益(千円)	3,806,779

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,550,116			
1 経常収益	5,451,195			
(1) 医業収益	3,897,779			
入院収益	2,234,891			
外来収益	1,284,738			
診療収入計	3,519,629			
その他医業収益	378,150			
(うち他会計負担金)	91,000			
(2) 医業外収益	1,553,416			
(うち国・都道府県補助金)	141,976			
(うち他会計補助・負担金)	968,650			
(うち長期前受金戻入)	122,617			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	98,921			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,767,108			
2 経常費用	5,593,401			
(1) 医業費用	4,934,292			
職員給与費	2,814,824	72.2	62.1	67.4
材料費	794,197	20.4	25.3	17.7
(うち薬品費)	473,285	12.1	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	319,004	8.2	11.4	8.8
減価償却費	432,311	11.1	9.5	10.7
経費	875,970	22.5	22.7	29.2
(うち委託料)	590,623	15.2	12.6	13.9
研究研修費	13,597			
資産減耗費	3,393			
(2) 医業外費用	659,109			
(うち支払利息)	2,108	0.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	173,707			
損益				
経常損益	-142,206			
純損益	-216,992			
累積欠損金	-			
経常収支比率	97.5		101.9	100.3
医業収支比率	79.0		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	27.2		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	19.1		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	78.5		89.3	84.8

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,961,918
1 固定資産	4,882,172
(1) 有形固定資産	4,680,201
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	201,971
2 流動資産	2,079,746
(1) 現金及び預金	1,290,591
(2) 未収金及び未収収益	722,511
(3) 貸倒引当金( )	5,308
(4) 貯蔵品	71,952
3 繰延資産	-
負債合計	2,476,345
1 固定負債	602,254
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	513,656
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	88,598
(7) リース債務	-
2 流動負債	486,506
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	73,130
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	183,400
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	204,185
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,387,585
(1) 長期前受金	4,822,251
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,434,666
資本合計	4,485,573
1 資本金	4,383,760
2 剰余金	101,813
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	101,813
負債・資本合計	6,961,918
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	530,550	1,059,650
資本勘定繰入	16,099	16,099
計	546,649	1,075,749

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	菊川市				
病院名	菊川市立総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	17,452 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	202	69.6	78.0	80.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	58	53.7	55.9	55.0
感染症	-	-	-	-
計	260	66.1	73.1	74.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.4	14.7	15.2

設立団体の状況		
人口(人)	47,789	
決算規模(千円)	24,558,194	
標準財政規模(千円)	11,613,575	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	92.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	9.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	82.7
修正医業収益(千円)	4,294,040

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,601,383			
1 経常収益	5,498,135			
(1) 医業収益	4,471,820			
入院収益	2,774,258			
外来収益	1,233,885			
診療収入計	4,008,143			
その他医業収益	463,677			
(うち他会計負担金)	177,780			
(2) 医業外収益	1,026,315			
(うち国・都道府県補助金)	299,499			
(うち他会計補助・負担金)	657,060			
(うち長期前受金戻入)	29,369			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	103,248			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,613,415			
2 経常費用	5,489,314			
(1) 医業費用	5,195,422			
職員給与費	3,076,512	68.8	62.1	66.1
材料費	687,388	15.4	25.3	19.8
(うち薬品費)	274,819	6.1	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	372,229	8.3	11.4	9.3
減価償却費	300,961	6.7	9.5	10.2
経費	1,104,209	24.7	22.7	28.2
(うち委託料)	652,289	14.6	12.6	13.6
研究研修費	10,047			
資産減耗費	16,305			
(2) 医業外費用	293,892			
(うち支払利息)	78,802	1.8	1.3	1.6
(3) 特別損失	124,101			
損益				
経常損益	8,821			
純損益	-12,032			
累積欠損金	4,039,481			
経常収支比率	100.2		101.9	99.9
医業収支比率	86.1		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	15.2		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.7		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	14.9		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	85.0		89.3	86.6

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,280,971
1 固定資産	5,423,698
(1) 有形固定資産	5,273,336
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	150,362
2 流動資産	857,273
(1) 現金及び預金	47,850
(2) 未収金及び未収収益	792,730
(3) 貸倒引当金( )	1,032
(4) 貯蔵品	17,724
3 繰延資産	-
負債合計	5,043,430
1 固定負債	3,050,331
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,999,928
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	46,051
(7) リース債務	4,352
2 流動負債	1,434,216
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	577,773
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	191,826
(6) リース債務	1,588
(7) 一時借入金	394,000
(8) 未払金及び未払費用	269,029
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	558,883
(1) 長期前受金	1,221,545
(2) 長期前受金収益化累計額( )	662,662
資本合計	1,237,541
1 資本金	5,277,022
2 剰余金	-4,039,481
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-4,039,481
負債・資本合計	6,280,971
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	661,364	834,840
資本勘定繰入	388,004	257,537
計	1,049,368	1,092,377

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	90.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名	
				静岡県	
市町村・組合名	森町				
病院名	公立森町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,766 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院			
診療科数	13	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	131	76.2	85.6	84.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	131	76.2	85.6	84.7
平均在院日数(一般病床のみ)		20.4	26.2	25.7

設立団体の状況		
人口(人)	17,457	
決算規模(千円)	10,718,875	
標準財政規模(千円)	5,439,107	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	89.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.6
	将来負担比率(%)	51.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,877,573			
1 経常収益	2,819,582			
(1) 医業収益	2,224,124			
入院収益	1,401,826			
外来収益	653,575			
診療収入計	2,055,401			
その他医業収益	168,723			
(うち他会計負担金)	6,168			
(2) 医業外収益	595,458			
(うち国・都道府県補助金)	138,050			
(うち他会計補助・負担金)	344,631			
(うち長期前受金戻入)	15,509			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	57,991			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,876,908			
2 経常費用	2,809,255			
(1) 医業費用	2,595,372			
職員給与費	1,608,276	72.3	62.1	67.4
材料費	219,420	9.9	25.3	17.7
(うち薬品費)	105,842	4.8	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	113,578	5.1	11.4	8.8
減価償却費	115,222	5.2	9.5	10.7
経費	640,411	28.8	22.7	29.2
(うち委託料)	369,216	16.6	12.6	13.9
研究研修費	3,027			
資産減耗費	9,016			
(2) 医業外費用	213,883			
(うち支払利息)	45,792	2.1	1.3	1.5
(3) 特別損失	67,653			
損益				
経常損益	10,327			
純損益	665			
累積欠損金	3,000,231			
経常収支比率	100.4		101.9	100.3
医業収支比率	85.7		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	12.4		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.2		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	87.9		89.3	84.8

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,754,089
1 固定資産	3,187,046
(1) 有形固定資産	3,165,665
(2) 無形固定資産	709
(3) 投資その他の資産	20,672
2 流動資産	567,043
(1) 現金及び預金	73,853
(2) 未収金及び未収収益	485,209
(3) 貸倒引当金( )	4,678
(4) 貯蔵品	12,659
3 繰延資産	-
負債合計	2,588,803
1 固定負債	1,623,804
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,587,889
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	35,915
(7) リース債務	-
2 流動負債	572,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	305,748
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	118,544
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	138,510
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	392,211
(1) 長期前受金	716,448
(2) 長期前受金収益化累計額( )	324,237
資本合計	1,165,286
1 資本金	4,165,517
2 剰余金	-3,000,231
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,000,231
負債・資本合計	3,754,089
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.5
修正医業収益(千円)	2,217,956

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	327,943	350,799
資本勘定繰入	178,657	179,201
計	506,600	530,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	134.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	共立蒲原総合病院組合(事業会計分)				
病院名	共立蒲原総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,651 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	175	64.4	64.2	66.3
療養	92	97.5	98.2	97.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	267	75.8	75.9	76.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	12.0	12.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.1
修正医業収支(千円)	3,523,417

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,450,480			
1 経常収益	5,340,547			
(1) 医業収益	3,752,350			
入院収益	2,481,829			
外来収益	967,205			
診療収入計	3,449,034			
その他医業収益	303,316			
(うち他会計負担金)	228,933			
(2) 医業外収益	1,588,197			
(うち国・都道府県補助金)	89,616			
(うち他会計補助・負担金)	781,087			
(うち長期前受金戻入)	18,723			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	109,933			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,450,480			
2 経常費用	5,340,547			
(1) 医業費用	4,043,041			
職員給与費	2,513,343	67.0	62.1	66.1
材料費	506,982	13.5	25.3	19.8
(うち薬品費)	213,590	5.7	13.5	10.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	293,392	7.8	11.4	9.3
減価償却費	381,450	10.2	9.5	10.2
経費	630,550	16.8	22.7	28.2
(うち委託料)	354,824	9.5	12.6	13.6
研究研修費	8,710			
資産減耗費	2,006			
(2) 医業外費用	1,297,506			
(うち支払利息)	36,683	1.0	1.3	1.6
(3) 特別損失	109,933			
損益				
経常収支比率	100.0		101.9	99.9
医業収支比率	92.8		83.2	80.1
他会計繰入金対経常収益比率	18.9		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	26.9		16.0	17.7
他会計繰入金対総収益比率	18.5		12.2	13.3
実質収益対経常費用比率	81.1		89.3	86.6

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,226,145
1 固定資産	4,565,790
(1) 有形固定資産	4,259,050
(2) 無形固定資産	229,409
(3) 投資その他の資産	77,331
2 流動資産	1,660,355
(1) 現金及び預金	543,103
(2) 未収金及び未収収益	1,066,647
(3) 貸倒引当金( )	1,441
(4) 貯蔵品	45,542
3 繰延資産	-
負債合計	2,241,300
1 固定負債	1,062,122
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,061,810
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	312
2 流動負債	761,969
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	352,602
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	207,921
(6) リース債務	2,230
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	167,094
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	417,209
(1) 長期前受金	1,452,250
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,035,041
資本合計	3,984,845
1 資本金	3,866,315
2 剰余金	118,530
(1) 資本剰余金	35,530
(2) 利益剰余金	83,000
負債・資本合計	6,226,145
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	644,368	1,010,020
資本勘定繰入	192,588	-
計	836,956	1,010,020

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名 静岡県	
市町村・組合名	榛原総合病院組合(事業会計分)				
病院名	榛原総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,565 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	355	47.1	51.7	50.2
療養	42	98.8	98.4	99.5
結核	-	-	-	-
精神	53	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	450	46.4	50.0	48.9
平均在院日数(一般病床のみ)		16.9	17.9	17.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.9
修正医業収支(千円)	19,466

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,026,546			
1 経常収益	1,026,546			
(1) 医業収益	178,502			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	178,502			
(うち他会計負担金)	159,036			
(2) 医業外収益	848,044			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	656,706			
(うち長期前受金戻入)	49,466			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,253,436			
2 経常費用	1,253,436			
(1) 医業費用	999,307			
職員給与費	27,754	15.5	62.1	59.8
材料費	-	-	25.3	27.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	14.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	12.4
減価償却費	461,726	258.7	9.5	8.2
経費	501,691	281.1	22.7	19.2
(うち委託料)	57,896	32.4	12.6	10.2
研究研修費	183			
資産減耗費	7,953			
(2) 医業外費用	254,129			
(うち支払利息)	157,079	88.0	1.3	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-226,890			
純損益	-226,890			
累積欠損金	13,805,469			
経常収支比率	81.9		101.9	103.7
医業収支比率	17.9		83.2	86.6
他会計繰入金対経常収益比率	79.5		12.3	10.2
他会計繰入金対医業収益比率	457.0		16.0	12.9
他会計繰入金対総収益比率	79.5		12.2	10.1
実質収益対経常費用比率	16.8		89.3	93.1

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,919,985
1 固定資産	7,549,250
(1) 有形固定資産	7,374,833
(2) 無形固定資産	4,893
(3) 投資その他の資産	169,524
2 流動資産	370,735
(1) 現金及び預金	356,266
(2) 未収金及び未収収益	11,468
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,279,707
1 固定負債	7,027,382
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,535,208
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	492,174
2 流動負債	622,116
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	548,002
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	2,244
(6) リース債務	30,947
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	37,923
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	630,209
(1) 長期前受金	2,425,172
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,794,963
資本合計	-359,722
1 資本金	13,405,671
2 剰余金	-13,765,393
(1) 資本金剰余金	40,076
(2) 利益剰余金	-13,805,469
負債・資本合計	7,919,985
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	359,722
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	361,798	815,742
資本勘定繰入	364,258	364,258
計	726,056	1,180,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	7734.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



病院事業決算状況(令和2年度)		都道府県名	
		静岡県	
市町村・組合名	一部事務組合下田メディカルセンター(事業会計分)		
病院名	下田メディカルセンター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	8,632 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	
診療科数	15	指定病院の状況	救感輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	138	65.2	66.6	60.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	9.6	0.3	0.1
計	142	63.7	64.8	58.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	10.5	9.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	362,590			
1 経常収益	362,590			
(1) 医業収益	70,448			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	70,448			
(うち他会計負担金)	70,448			
(2) 医業外収益	292,142			
(うち国・都道府県補助金)	259			
(うち他会計補助・負担金)	164,243			
(うち長期前受金戻入)	23,495			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	463,214			
2 経常費用	405,614			
(1) 医業費用	356,154			
職員給与費	18,094	25.7	62.1	67.4
材料費	-	-	25.3	17.7
(うち薬品費)	-	-	13.5	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.4	8.8
減価償却費	196,200	278.5	9.5	10.7
経費	139,562	198.1	22.7	29.2
(うち委託料)	126,949	180.2	12.6	13.9
研究研修費	-			
資産減耗費	2,298			
(2) 医業外費用	49,460			
(うち支払利息)	39,763	56.4	1.3	1.5
(3) 特別損失	57,600			
損益				
経常損益	-43,024			
純損益	-100,624			
累積欠損金	-			
経常収支比率	89.4		101.9	100.3
医業収支比率	19.8		83.2	79.7
他会計繰入金対経常収益比率	64.7		12.3	15.5
他会計繰入金対医業収益比率	333.1		16.0	20.8
他会計繰入金対総収益比率	64.7		12.2	15.6
実質収益対経常費用比率	31.5		89.3	84.8

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,666,153
1 固定資産	5,012,609
(1) 有形固定資産	4,886,667
(2) 無形固定資産	40,484
(3) 投資その他の資産	85,458
2 流動資産	653,544
(1) 現金及び預金	509,683
(2) 未収金及び未収収益	143,848
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,846,932
1 固定負債	2,332,583
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,332,583
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	299,941
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	201,866
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,325
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	95,726
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	214,408
(1) 長期前受金	1,396,797
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,182,389
資本合計	2,819,221
1 資本金	983,373
2 剰余金	1,835,848
(1) 資本金剰余金	1,663,826
(2) 利益剰余金	172,022
負債・資本合計	5,666,153
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	137,042	234,691
資本勘定繰入	102,683	50,567
計	239,725	285,258

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和2年度)				都道府県名
				静岡県
市町村・組合名	掛川市・袋井市病院企業団			
病院名	掛川市・袋井市病院企業団立中東遠総合医療センター			
施設及び業務概況等				
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	44,529 m <sup>2</sup>	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	33	指定病院の状況	救臨 感 災 地	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	500床以上	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和2年度	令和元年度	平成30年度
一般	496	71.8	83.6	87.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	62.7	9.7	18.0
計	500	71.7	83.0	86.9
平均在院日数(一般病床のみ)		9.1	9.9	10.0

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,897,427			
1 経常収益	18,611,201			
(1) 医業収益	14,584,258			
入院収益	9,424,493			
外来収益	4,184,413			
診療収入計	13,608,906			
その他医業収益	975,352			
(うち他会計負担金)	289,811			
(2) 医業外収益	4,026,943			
(うち国・都道府県補助金)	2,536,136			
(うち他会計補助・負担金)	739,809			
(うち長期前受金戻入)	311,664			
(うち資本費繰入収益)	347,218			
(3) 特別利益	286,226			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,666,631			
2 経常費用	17,378,088			
(1) 医業費用	16,506,615			
職員給与費	9,244,674	63.4	62.1	55.8
材料費	3,469,346	23.8	25.3	29.8
(うち薬品費)	1,578,089	10.8	13.5	16.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,885,356	12.9	11.4	13.0
減価償却費	1,226,980	8.4	9.5	8.7
経費	2,508,532	17.2	22.7	19.7
(うち委託料)	1,370,930	9.4	12.6	12.6
研究研修費	44,743			
資産減耗費	12,340			
(2) 医業外費用	871,473			
(うち支払利息)	223,557	1.5	1.3	1.2
(3) 特別損失	288,543			
損益				
経常損益	1,233,113			
純損益	1,230,796			
累積欠損金	362,237			
経常収支比率	107.1		101.9	102.5
医業収支比率	88.4		83.2	87.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.5		12.3	9.1
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		16.0	11.4
他会計繰入金対総収益比率	5.4		12.2	8.9
実質収益対経常費用比率	101.2		89.3	93.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,665,973
1 固定資産	14,913,755
(1) 有形固定資産	13,734,075
(2) 無形固定資産	731,799
(3) 投資その他の資産	447,881
2 流動資産	6,752,218
(1) 現金及び預金	2,973,254
(2) 未収金及び未収収益	3,517,629
(3) 貸倒引当金( )	33,491
(4) 貯蔵品	261,276
3 繰延資産	-
負債合計	20,628,605
1 固定負債	16,554,357
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,718,380
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,778,628
(7) リース債務	-
2 流動負債	3,284,187
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,119,850
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	487,481
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,676,656
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	790,061
(1) 長期前受金	4,301,771
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,511,710
資本合計	1,037,368
1 資本金	1,302,074
2 剰余金	-264,706
(1) 資本金剰余金	97,531
(2) 利益剰余金	-362,237
負債・資本合計	21,665,973
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.6
修正医業収益(千円)	14,294,447

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	821,159	1,029,620
資本勘定繰入	696,490	696,490
計	1,517,649	1,726,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。